

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1998.9・10.118号



朝粥に舌つづみ

八月一日から三日までの三日間、神戸別院本堂で暁天講座が開催されました。別院の今日のスタートをお聴かせし、午前七時から早朝の法座にもかかわ

朝粥いたただき聞法 神戸別院の第9回暁天講座

今年はお晨朝のお勤め(讀仏偈、正信偈和讃)、ご法話に引き続き、別院仏壇の方々による「朝粥」のお接待があり、参拝者と共に、ご講師、輪番、別院職員も一緒にお接待の席につき、和氣藹藹とした雰囲気の中で美味しくいただきました。「家ではなかなかこんなに上手にお粥を炊けません」「これが楽しみで三日間通いました」という声も聞か

れ参拝者には大変好評でした。三日間のご講師とその講題は、一日目が谷川弘顯師(神戸湊組高松寺)で「人間回復への道」と題し、「姿形だけではなく、私に本道が、本願念仏によって与えられている。」とお話しいただきました。二日目は宮里哲秀師(神明組真宗寺)で「利剣の如し」と題し、

「橋慢心という鑑を鋭い剣で断ち切り、この私自身の本来の姿をそこにあらわしてくださるのが、南無阿弥陀仏という如来の願いの世界である。」と示しただきました。三日目は鹿多証道師(加古川組妙正寺)で「朱夏涼風」と題し、暁天講座を真夏に吹く涼風に喩え「物事を詳しく見ることによって、今まで知らなかった事実に出会う。すると様々な問題が他人事とほっておけない問題であったと気付かされてくる。」とお話いただきました。短い時間ではありましたが、このことを取り継ぎたいとそれぞれの講師の熱い思いが伝わってくる尊いご縁でした。

参拝者は三日間で述べ九十名を数えました。今年で九回目の開催となり、毎年楽しみに参拝される方がおられ、別院の恒例の法座と なってききましたが、まだまだ早朝開催の特徴を活かしきれない面もあることを考え、仏法に関心はあるが仕事をもち時間的な都合がつかず、お寺参りができない働き盛りの世代に注目されるような場となっていくことが今後の課題ではないかと思われま



柿木人麻呂が九州よりの帰途、明石海峡にさしかかった時「天離るひなの長路ゆ恋いければ明石の門より大和島見ゆ」と詠んでいるが、その時の眺めと今の眺めと較べてみたい◆見渡すかぎり青松白砂の自然のままの美が、ことに終戦直後まで内海の魚類資源保護のため「魚つき保安林」として山野の青さが保持されていたのに、ご覧の通りである◆「来ぬ人を松帆の浦の夕風に焼くや藻塩の身もこがれつつ」百人一首の歌の「松帆の浦」は明石の門の淡路側の名所であるが、松喰虫のため人工的に伐採、株式一部上場企業の保養所が海峡を見下している◆夢の架け橋といわれた明石海峡大橋が神戸市舞子より淡路町岩屋まで世界一の大橋として架かり、道路公団の試算では一日一万五千台の車の往來を目前み、眼下の海峡は浦賀水道と一、二を争う船舶の往來がある◆人麻呂、今明石の門に立たば諸行無常を大痛嘆し、変化なされた人間心にも無常を感じ慈悲を喜ぶ事だろう。(巖見照)

9・10月	
15日(火)~16日(水)	別院常例法座 堀川宣裕師 1時半
16日(水)	仏婦単位会会長研修会 10時半
18日(金)	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 千鳥ヶ淵戦没者墓苑
19日(土)~28日(月)	蓮如上人500回遠忌法要(第8期) 本山
20日(日)	仏社姫路・西播ブロック研修会 あかとんぼ文化ホール
22日(火)~24日(木)	別院彼岸会 赤松弘淳師 1時半
23日(木)	第3回全国門徒推進員の集い 本山
26日(土)~27日(日)	第5回ビハーラ活動全国集会 本山
27日(日)	仏牡丹波・但馬ブロック研修会 水上西組正福寺
30日(水)	愛生園追悼法要 愛生園
10月3日(土)	第一土曜仏教講座 高橋事久師 1時半
3日(土)~12日(月)	蓮如上人500回遠忌法要(第9期) 本山
15日(木)~16日(金)	別院常例法座 谷川弘顯師 1時半

教務所の新職務分担

新人は藤井君ら3人

平成十年九月から神戸別院・兵庫教区教務所の職務分担が一部変更されました。お知らせします。

- ▽高橋廣爾(輪番・所長、基推委会長)
- ▽北村昌康(副輪番・賛事、輪番直接庶務、教化センター運営委員会主任、別院寺務主任、別院責任役員・総代世話人会、一乗会、教区会組長会、災害対策委員会)
- ▽安井秀顕(副輪番・賛事、推進専従員、所長直接庶務、基推委社会教化推進委員会主任、社推協・布教団、門徒総代会、愛生園・光明園、蓮師法要団参、江並教堂、近藤龍樹(教区相談員、基推委主幹、企画常任委員会、基推委会長、組相談員会議、教化組織連絡会、基推委教学伝道推進委員会主任)
- ▽竹内英昭(参勤・賛事、推進専従員、基推委連研推進委員会主任、基推委組織教化推進委員会主任、研修指導部会、広報部、矯正保護、都市開教、過疎対策、門推、保育、図書)
- ▽尾井秀瑛(参勤・賛事、推進専従員、基推委同朋連)
- ▽山内理史(承仕、書記、別院法務、別院・教化センター会計、別院壮年会)
- ▽三原義昭(承仕、書記、別院法務、別院会計収納講演会)
- ▽福岡義隆(承仕、書記、別院法務、納骨所、子供会、モダン寺新聞、基推委事務)
- ▽上田弘史(掌・書記補、別院法務、カレンダー受付)
- ▽山内理史(承仕、書記、別院法務、別院・教化センター会計、別院壮年会)
- ▽三原義昭(承仕、書記、別院法務、別院会計収納講演会)
- ▽福岡義隆(承仕、書記、別院法務、納骨所、子供会、モダン寺新聞、基推委事務)
- ▽上田弘史(掌・書記補、別院法務、カレンダー受付)
- ▽赤松文野(前受、教化センター事務)
- ▽泉井美栄子(三輪澄子(任用・環境美化)
- 尚、現地対策本部専従コーディネーターは副高朗。



新職員の上田氏、藤井氏、大原氏(左から)

敬弔

窪田正寛師(くぼた・しよかん)掛龍西組源徳寺前住職)七月十二日、八十八歳で往生。葬儀は七月十四日、源徳寺で。「慈徳院釋正寛。昭和十九年から五十五年まで住職在職三十七年。昭和五十二年から教区会議員一期。本願寺派布教使。

赤松文野さん(あかまつ・あやの)赤穂北組光専寺前坊守)七月十七日、九十歳で往生。葬儀は七月十九日、光専寺で。「慧光院釋尼清澄」。

▽大原 淳(堂掌、前受、教化センター事務)

▽泉井美栄子、三輪澄子(任用・環境美化)

尚、現地対策本部専従コーディネーターは副高朗。

菅 弥生さん(すが・やよい)阪神西組乗誓寺坊守)八月三十一日、六十五歳で往生。葬儀は九月八日、乗誓寺で。「乗華院釋尼彌生」。

報恩講の「法」を門徒へ

「法」シリーズ法恩講を制作。一部二十円(送料実費)で百部以上は無料で寺号を印刷します。

横山正知師(よこやま・しょうち)北摂組元昭寺前住職)七月二十日、八十一歳で往生。葬儀は七月二十一日、元昭寺で。「慈光院釋正知」。昭和二十二年から五十八年まで住職在職三十七年。昭和三十六年から教区会議員一期。昭和四十一年から組長二期。本願寺派布教使。

森本眞悟師(もりもと・しんご)加古川組教照寺衆徒)八月一日、七十歳で往生。葬儀は八月三日、教照寺で。「淨願院釋眞悟」。

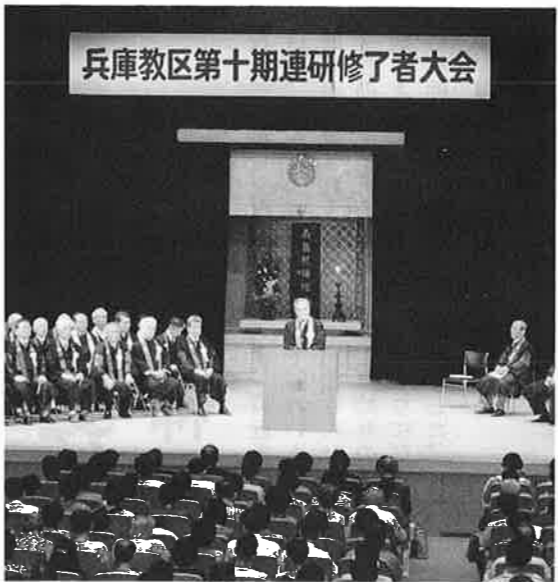
奥嶋顕彰師(おくしま・けんしょう)阪神北組西方寺住職)八月七日、八十七歳で往生。葬儀は八月九日、西方寺で。「誠實院釋顕彰」。昭和十九年から住職在職五十五年。昭和六十年から教区会議員現職。本願寺派布教使。

連研修了775人が参加

京都で兵庫教区の大会

兵庫教区第十期連研修了者大会が七月五日に京都の本願寺会館で開催された。平成八・九年度の二年間、組連研修了者一七七八名を対象に、当日は七七五名が参加した。また、参加者の内二六名が大会を縁に帰敬式を受けた。

大会のテーマは「御同朋の社会をめざして」。記念講演に基幹運動本部事務局の岩本孝樹部長が「めざめと行動」と題してお話しされた。午後は帰敬式受式の後、体験発表を池田久子さ



連研大会の記念式典

もと勤行から始まり、高橋廣爾教務所長の挨拶、山本宣昭組長会長（淡路組萬行寺）の祝辞、中井修門推会長（播磨東妙覚寺門徒）の中央教修への勧誘の言葉、参加者を代表して加茂繁行さん（姫路西組光瑞寺門徒）が大会の決意表明を行って無事終了した。

連研が第十期を終え、全修了者は二万人を数える。連研の目的は、門徒推進員養成であり基幹運動の基盤となることを今、再確認をしなければならぬ時期がきている。兵庫方式と言われてきた講義中心の連研を見直し、法座の課題（日常生活からの疑問や悩み）から引き出された問いを通して、共に考え、寄り添い整理し、法に問い、聞き、語る「話し合い法座」を取り入れた連研へと移行されていくことが望まれる。

また、教区の門徒推進員は三七三番（三五三三）まで登録されているが（全国三九五〇名）今大会を機縁にして、中央教修の受講が期待される。

ラジオ法話 山陽放送で 西本願寺の時間

ラジオで法話が放送され、多くの聴取者を得ている「西本願寺の時間」が、教区内の岡山方面をエリアに持つ山陽放送ラジオで、本年5月から放送が始まった。毎週日曜日、朝六時四十五分から十分間、RSK山陽放送ラジオ一四九四kHzで放送され、好評をいただいている。

兵庫県内は、ABC朝日放送一〇〇八kHzで毎週火曜日、朝五時二十分から十分間放送されているが、岡山県内は聴きとりにくいことから、岡山の地元でも放送をとの強い要望を受け本山からの助成金と岡山南・岡山西の両組内全寺院からご協力を得、京阪神都市圏都市開教対策本部兵庫支部の

● 武庫川 (尼崎市)	モンシゼミナール (阪神西門徳寺)	06-416-1212
● 乗誓寺 (西宮市)	ふれあいテレホン法話 (阪神西組乗誓寺)	0798-48-1212
● 専念寺 (神戸市)	レホン法話 (神戸東組専念寺)	078-811-6050
● モダン寺 (神戸市)	レホン法話 (神戸別院)	078-361-0091
● 正光寺 (神戸市)	レホン法話 (北摂組正光寺)	078-982-2000
● 浄土真宗 (洲本市)	レホン法話 (淡路組)	0799-23-1313
● テレホン法話 (加古郡)	正願寺 (加古川組正願寺)	0794-37-4133
● 本誓寺 (飾磨郡)	レホン法話 (姫路西組本誓寺)	07933-5-2533
● 網干寺 (姫路市)	レホン法話 (網干組)	0792-74-0874
● 勝林寺 (出石郡)	レホン法話 (勝林寺)	0796-52-5800
● 法親寺 (玉野市)	レホン法話 (岡山南組法親寺)	0863-32-0040
● 西本願寺 (岡山市)	岡山テレホン法話 (本山)	0862-71-4004

教区内12局が テレホン法話

活動として実施されることになった。

翌月の放送予定を岡山両組の全寺院に送付し、各寺ではそれをコピーして門信徒に案内されている。

RSK山陽放送ラジオは赤穂、姫路、明石、神戸等でも受信できる所があるので是非お聴きください。

「西本願寺ラジオ放送友の会」に入会（年会費十円）に加入（年会費十円）と放送内容（お話された先生方のお話内容一年分）を一冊にまとめた冊子が送られてくる。また、放送された法話は、本願寺テレホン法話（☎〇七五二七一一七六五〇）でも同時に聞くことができるのでご利用ください。

開設者にとっては、わずか三分余りの時間だが毎回の話題づくりにもまた録音にと大変な苦労だと思いが受話機から流れてくる法話者の肉声は、聴く者を温かくつつみ安らぎを与え、その言葉じりからも法話者の人柄が偲ばれ、まさに一人のために法を説いてくださっているように受け取れるのではないだろうか。

講座で「環境ホルモン」

HOO日誌

◆7月1日 仏播西播ブロック研修会が本徳寺（姫路西組）で。講師は香川孝志師（山口教区都濃西組善宗寺）

◆青僧会役員会を別院で。大阪教区島上組長榮寺より別院に団体参拝◆真宗大谷派岡崎教区第六組より別院に団体参拝◆2日 3日 第15回本派教誨師・篤志面接委員全国大会◆3日 兵庫県仏教教誨師会総会が別院で◆4日 第一土曜仏教講座。講師は、竺文彦師（龍谷大学理工学部教授）

◆5日 第十期連研修了者大会を京都・本願寺会館で◆仏壮第24回岡山大会を岡山市・岡山衛生会館で。講師に山下義門師（備後教区奥組浄福寺）

◆滋賀教区妙楽寺照鳳仏教婦人会より別院に団体参拝◆6日 寺婦運営委員会を別院で◆7日 臨時教区会（通算一二一回）を別院で。前年度教区一般会計決算等七議案を審議し可決◆別院仏婦定例法座。講師は水杉

悟史師（多可組正圓寺）◆教務所長会が本山で◆8日 仏婦但馬ブロック研修会が光行寺（城崎組）で。講師は香川孝志師◆9日 仏婦丹波ブロック研修会が照徳寺（水上西組）で。講師は香川孝志師◆10日 仏婦神戸ブロック研修会が別院で。講師は香川孝志師◆12日 参議院選挙投票所が別院を会場に◆13日 仏婦東播・姫路ブロック研修会が本徳寺（姫路西組）で。講師は波北彰真師（山陰教区温泉津組光善寺）◆14日 仏婦阪神ブロック研修会が西福寺（阪神西組）で。講師は波北彰真師◆近同推寺婦研修会が本山で◆源徳寺（揖龍西組窪田正憲住職）の窪田正憲前住職の葬儀に安井秀顕賛事が達音伝達◆矯正管区支部評議員会が津村別院で◆15日 広報部会を別院で◆15日 16日 別院常例法座。講師は井上英樹師（姫路中組西徳寺）◆16日 震災仮設住宅での追悼法要が西神第七仮設住宅集会所で◆職員会を別院で◆17日 基推委企画常任委員会を別院で◆土基謙教前

所長の尊父が逝去され、北村昌康副輪番が弔問◆21日 連研のための研究会を別院で。講師は片江哲海師（連研中央講師・佐賀教区神崎組西福寺）◆23日 岡山市・山陽放送ラジオ局ヘラジオ放送打ち合わせに本山伝道部長、教務所長、担当者が出席◆24日 仏婦常任委員会を別院で◆25日 三教区合同研修会が津村別院で◆土曜子ども会◆26日 仏壮阪神・神戸ブロック研修会が萬行寺（淡路組）で。講師は谷川弘顯師（神戸湊組高松寺）◆28日 サマースクール事前研修会を西光寺（公衆組）で◆31日 阪神北組（河原弘雄組長）連如フェスタが川西市・みつなホールで。高橋所長が出席し祝辞を述べた◆8月1日 晴天講座。講師は谷川弘顯師（神戸湊組高松寺）◆講題は「人間回復への道」◆第一土曜仏教講座。講師は小玉大圓師（龍谷大学教授）。講題は「愛と目覚め」◆1日 2日 98全国真宗青年の集いinHON G W A N J I。教区から20名が参加◆2日 晴天講座。

講師は宮里哲秀師（神戸西組真宗寺）講題は「利剣の如し」◆3日 晴天講座。講師は鹿多証道師（加古川組妙正寺）。講題は「朱夏涼風」◆福岡教区仏青連盟より別院に団体参拝◆滋賀教区滋賀組仏教婦人会より別院に団体参拝◆5日 常備会を別院で◆11日 15日 別院お盆参り◆15日 別院孟蘭盆会。講師は高橋廣爾輪番◆16日 20日 教務所・別院盆休◆20日 22日 第35回びかびかサマースクールを西光寺（公衆組）で◆22日 奈良教区仏青連盟より別院に団体参拝◆和歌山教区和歌山組寺族青年会より別院に団体参拝◆24日 龍谷大学同窓会物故者追悼法要を別院で◆25日 加古川組連如上人五百回遠忌法要◆第2回御同朋総結集大会が加古川市のラ・ヴィーナ大和殿で。安井秀顕賛事が出席◆26日 高橋教務所長の母堂が逝去され竹内英昭賛事が弔問◆基推委企画常任委員会を別院で◆備後教区深津組法中（親和会）より別院に団体参拝◆27日 門徒総代研修会を別院で。講師は藤田徹文師（備後教区御調西組光徳寺）◆青僧会役員会を別院で◆29日 東西真宗保育研修会が姫路

寺族婦人会連盟（本田美喜恵委員長）では、本年の三月に辻岡武子委員長（當時）からの呼びかけで、震災遺児義援金として教区内寺族婦人からの協力で、三百六十八万五千円が集まった。この浄財の内、二百万円を「兵庫県」へ、五十万円を震災遺児の救援活動をしておられる「あしなが育英会」に寄付し、残金の使途については連盟で検討しながら、援助を継続していくことにしている。

去る八月二十八日、高橋教務所長、辻岡武子さん（高砂組教徳寺）、光森洋子さん（阪神西組報徳寺）、杉本雅代さん（神戸東組照善寺）、尾井担当者が県庁へおもむき、義援金を貝原俊民県知事に直接手渡した。寺婦連盟の趣旨を説明し、遺児のために活用いただく

みのり保育園（菅朴子園長）で講師は童謡詩人の金子みすゞさんを発掘された童謡詩人の矢崎節夫さん◆29日 30日 モダン寺土曜子ども会サマースクールを別院で◆30日 名古屋別院・西

震災遺児義援金贈る 寺婦連盟が兵庫県などへ

ようお願ひした。知事は、神戸別院の門徒でもあり、親密な対応の中現在の復興状況を説明くださり、皆様のお気持ちに充分反映できるよう努力することを約束してください。



貝原知事に義援金を手渡す